

東海道 第五十二宿

# 東海道五十三次

## 草津

草津宿は中山道と東海道が交わる場所。多くの旅人がここで出会いと別れを繰り返したことであった。  
草津宿本陣の見事な建築に、子に驚く、天井のトネル驚き



草津宿本陣



東海道  
五十三次  
草津  
名物

張重良

名物うまいもの  
うばがもち

草津宿本陣は江戸時代の  
姿がほぼ完璧に残って  
いる貴重な史跡。老朽化  
が進んでいたので、平成元  
年から約七年間かけて  
改修され、平成八年に完了  
したばかりである。

広大な屋敷の内部はど  
の部屋も立派で、襖絵  
障子、松木格天井など  
内装も擬そる。

石部から草津に今でもあろう。  
街道にゆくと豪華な建物。史跡「中散  
本陣」の石柱。ここはもと中散を売る  
せさいや本陣で、茶屋本陣にもなった。  
家康が野洲郡永原に滞在し、腹痛を  
起こしたときに、この薬で治り、この名を  
えたと伝わる。せいたもした玄関の欄間や  
重厚な店構えは江戸時代の豪商の姿を  
そのまま伝えてくれる。  
すがすがしい庭は小堀遠州の作。ソウジなどの  
縁が美しい。

